



8月23日に行われたソバの花
観察会の様子（轟木地区）



遊休農地解消への取り組み

町内各地でソバ作付け実施

町農業委員会では、遊休農地の解消と食育の一環としてソバの作付けを町内各地で実施しました。

7月19日には豊間根地区で実施し、豊間根保育園の園児や豊間根小の児童50人が参加。国道45号沿いの遊休農地20㍓に階上早生の種20㍓をまきました。

また、7月23日には轟木児童館の園児と轟木小の児童40人が轟木児童館脇の遊休農地10㍓にソバの作付けを行いました。

8月23日にソバの花が見ごろを迎え、両地区では観察会を実施。子供たちは畑いっぱいに咲いたソバの花の香りを楽しんだ

り、花のスケッチを行いました。このほかにも織笠・白石地区で農家の方が、関谷地区では、社会福祉法人やまた共生会がソバの作付けを実施しました。また、豊間根地区では飼料稲、織笠地区では飼料稲と飼料ひえの栽培を行うなど、各地区で遊休農地解消に取り組んでいます。

町農業委員会では、これからも草刈りボランティア活動などのさまざまな事業に取り組んでいきますので、皆様のご協力をお願いします。

▽問い合わせ 町農業委員会事務局（☎82-3111内線239）へどうぞ。

そば打ち体験と試食会を開催



町農業委員会では、そば打ち体験と試食会を開催します。どなたでも参加できますので、お気軽にお申し込みください。

- ▷日時 10月4日(木) 午前11時～
- ▷場所 町中央コミュニティセンター
- ▷参加料 無料
- ▷定員 30人
- ▷講師 岩脇ヨシエさん（久慈市成谷自然食の会会長）
- ▷申込期限 9月14日
- ▷申込先・問い合わせ 町農業委員会事務局（☎82-3111内線239）へどうぞ。

町長室から

8月1日から3日間、当町で日本生物教育学会の全国大会・夏季研修会が開かれ全国から20数名の教職員の皆さんが出席しました。この企画は、かねてから山田町がいろいろな面でお世話いただいている東邦大学の吉崎教授のお力によるものでしたが、最終日に参加者一同の総意として「山田町宣言」が発表されましたので、その一部をお伝えします。「大会では山田町の豊かな自然を学びました。30種の陸上植物、30種の海草と友達になりました。山田町には獅子舞、鹿舞、虎舞、剣舞など自然を舞台とする芸能が伝えられています。山田町の文化は自然の中にはぐくまれながら守られてきました。山田町の豊かな自然と文化に接し、私達は山の神、海の神と話が出来たことを誇りに思っています。山田町の豊かな自然を世に紹介し、さらには後世にまで伝え続けて行くことが私達の使命です」。

山田町長 沼崎 喜一